

みやぎっ子『食』・『農』くらぶ ～平成 30 年度事業報告書～

名称	非営利市民団体 みやぎっ子『食』・『農』くらぶ
所在地	宮城県仙台市泉区上谷刈3丁目14-7B-101 内
支援地区	宮城県仙台市内(宮城野区を中心に活動) 主活動拠点:(食育活動)仙台市 市民センター (農作業体験)仙台市宮城野区岡田新浜地区
役員	<ul style="list-style-type: none"> ・代表:阿部穰二(あべじょうじ)-調理師 ・副代表:笠井 健介(かさいけんすけ)-調理師・農業指導員 ・副代表:佐伯 晃(さえきあきら)-調理師・農業指導員 ・役員(会計/総務):伊丹 慶一(いたみけいいち)-管理栄養士・調理師 ・役員(実務委員):伊丹正美(いたみまさみ)-保育士 ・役員(実務委員):鈴木瑞穂(すずきみずほ)-保育士・幼稚園教諭 ・役員(食育委員):新谷ちあき(あらやちあき)-栄養士
アドバイザー・サポートスタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・小野寺知香氏(調理師・パティシエ) ・西城明日香(管理栄養士・田子希望園) ・佐々木祥子氏(看護師) 他、ボランティア登録スタッフ 14 名
協力団体	<ul style="list-style-type: none"> ・高砂市民センター ・新浜協業組合 ・宮城野親子で料理プロジェクト ・明成高校 調理科 食の学人の会 他
会員数	会員数:60 名(2018 年 4 月 1 日時点)
活動理念	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で楽しく学べる食育・農作業活動の支援 ・活動を通し『親子の絆』が深まる思い出作りの場の提供 ・活動を通し『子供の学ぶ力』を養う教育支援
主な活動	<p>○親子農作業体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族でともに体験できる農作業体験の実施 ・田植えや稲刈り、野菜の栽培などを通し子供たちの総合力をあげる活動。 ・『食』の原点である“農業”の基本的な知識や経験を親子で学べる活動の実施。 <p>○親子料理教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族でともに学べる『食育活動』として料理教室を開催。自分たちの育てた野菜や地元食材、宮城の食文化を伝える教室の実施。 <p>○食育イベント活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・餅つきや果物狩り、農業体験、芋煮会などの食育イベント開催。 食育イベントのサポート、開催支援。 <p>○地域支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸所のイベントを通し、震災被災地域と市街地に住む家族の交流が促進する活動の実施。 <p>○子供・その家族と食にかかわる企業・団体・生産者とのマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『食』と『農』に携わる諸団体と、会員のマッチング、交流が図れるための支援・イベントの開催。こども食堂との無償食育活動・食事支援。

みやぎっ子『食』・『農』くらぶ ～活動内容～(30年度)

1、事業報告

30年度のテーマとタイトル	みやぎっ子 『宮城野 食・農プロジェクト』 ～子供の力で地域を盛り上げ、その体験を通し大きく成長する～
30年度の目的	『農作業体験』を通し、子供たちの『生きた』経験を増やし、活動を通して健全な発育・成長の促進をサポートする。 また『農作業』と『食』を関連付けることにより、一連した『食体験』から、子供たち・一緒に参加する家族の総合的な『食育力』の向上を図る。 東日本大震災で住民移転が増え過疎化が進んでいる地区で活動を実施することにより、地域住民と、市街地の子供たちとの距離を縮めながら、ともに活動を進めることで生まれる『出会い』から、両者の総合的な絆を深め、地域福祉の向上を目指す。
事業の具体的な内容	月に1～2回のペースで、宮城野区新浜地区を中心とした農地で、子供たちが安全に楽しく学べる『農作業体験』を実施。(野菜の植え付け・収穫・管理、米の栽培等) また、活動を通して収穫した野菜や米を使い、『料理教室』等の食育活動も併せて実施する。活動には、当該地域の住民や農業従事者の方を『サポーター』として呼び出し、交流が図れる機会を多く作り、参加者に被災地の現状を知ってもらいつつ、復興段階にある活動地域の現状を知ってもらうことで、地域福祉の向上も目指す。
活動の開始から完了までの流れ	<p>4月8日→『食育イベント(子どもカフェ)』</p>  <p>4月29日→『農作業体験イベント(野菜植え付け)』</p>  <p>5月12日→『農作業体験イベント(金時芋植え付け)』</p>

5月19日・20日→『農作業体験・交流イベント(田植え)』



6月2日→『農作業体験イベント(野菜収穫体験)』

6月10日→『農作業体験イベント(野菜収穫体験)』

6月23日→『農作業体験イベント(大豆植え付け)』



6月24日→『食育イベント(野外調理・果物狩り)』



7月7日→『食育イベント(お野菜縁日)』



7月8日→『農作業体験イベント(野菜収穫体験)』

7月14日→『農作業体験イベント(野菜収穫体験)』

7月29日→『食育イベント(料理教室)』



8月26日→『農作業体験・地域交流イベント(野菜祭り)』

9月30日→『農作業体験イベント(大豆植え付け)』

10月7日→『農作業体験・地域交流イベント(稲刈り)』



10月21日→『農作業体験イベント(野菜収穫体験)』

10月14・27・28日→『食育イベント(こども職業体験)』



を実施しました。農業体験では、主に、親子で野菜の種まきや管理、収穫体験を行い、食育イベントでは、収穫した野菜を使った料理教室や、活動を多くの方にPRする取り組み、職業体験などを実施いたしました。

<p>活動の成果や達成したもの</p>	<p>一番大きな成果としては、通年を通して、子供たちに様々な野菜の植え付け・管理・収穫体験・職業体験を提供できたことです。 仙台市内では、単発の農作業イベントは多いものの、年間を通して取り組みのできる農作業体験の場が少ないように感じます。自分たちが蒔いた種が、芽を出し、大きく成長し、途中、雑草に負けそうになりながらも徐々に成長し、花や実を付け、それを自分たちで収穫し、調理し、口にする。この一連の流れを全て体験できる機会は少なく、子供達にも大きな感動や学びの機会となったようです。また、一緒に参加していた親御さんも、子供たちの体験による成長を目の当たりにし、ともに活動した時間が、親子の絆の構築にもつながっていたと感じました。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>親子でともに活動できる企画を増やし、回数や一回当たりの実施内容を充実させていくとともに、子供たちの年齢層に合わせた、細分化した活動内容を用意し、当団体の取り組みが、子供たちの農業や食事に関する興味・関心を持つきっかけになるような取り組みを行っていきたいと思います。</p> <p>また、活動に参加してくれた子供・家族が、活動地域に対して思い入れを持っていただけるよう、地域の方との交流の機会を増やし、当団体の活動だけではなく、活動地域のイベントや活動に積極的に参加し、地域の総合的な福祉力の向上のお手伝いとなるよう次年度以降活動を進めていきたいと思います。</p>